

えぽっくだより



Website



Facebook

R7 事業計画は
こちらから！



2025 年 4 月 No. 3
社会福祉法人えぽっく
広報委員会 発行

時代と歩み、次代を紡ぐ

えぽっくは、福祉制度や福祉サービスの枠組みの隙間で生きづらさを抱えながら、今の時代を生きる方々に寄り添う伴走者であることを使命としています。誰もが夢や希望を大切にしながら、自分の人生の未来を創造していくことができる社会にすることが目標です。

えぽっく設立からまもなく 20 年。福祉制度の充実は一定程度すすみましたが、障がい者をはじめさまざまな困難を抱える方々の現在そして将来への不安な気持ちは、20 年前と大きく変わっていません。実際に社会全体では、多くの市民が不安要素を増大させている傾向にあります。

日本・世界では大きな社会変化や災害も多発していますし、世界における日本の相対的地位も大きく変わりました。ただ時代はとまらずに大きく動き、次から次へと前へ進んでいます。「えぽっく」には、「時代」、特に「新しく画期的な時代・時期」「時代に区切りがつくほどの新しい物事が起こるさま」「時代を切り開く」という意味があります。

時代が変化する中でも、「人を大切にする支援」を忘れず、どんな状況でも利用者の皆さまに寄り添い続け、利用者の皆さま、地域の皆さまとともに歩み、明るい未来を私たちが切り開いていくことを心に誓って活動を続けてまいります。

(理事長 松坂 優)



← 宿泊先のホテルエミオン東京
ベイで記念写真
↓ お城の前でも撮りました ✨



2025 年 4 月 1 日
辞令交付式
支援・相談・事務職それぞれ
新しい職員が入職しました

2025 年 4 月 16 日～18 日

ともっとの入居者の皆さんとディズニーランド旅行に行きました

2024 年 10 月 29 日～11 月 4 日

ベトナム・フエ市の障害児センターでの支援
活動と交流をしました



ホホエム



ホホエムは、北広島市共栄にて、生活介護(定員 40 名)・短期入所(定員 7 名)・地域生活支援事業(日中一時支援)・認定就労訓練事業を提供しています。令和 7 年度は意思決定支援を中心に置き、個々の個性に合わせた日中活動の提供と充実に力を入れていきます。

ホホエムで運営している「喫茶れざみ」では、利用者様とスタッフが力を合わせて営業中です。新規のお客様はもちろんリピートのお客様にも愛されるお店作りを目指します！

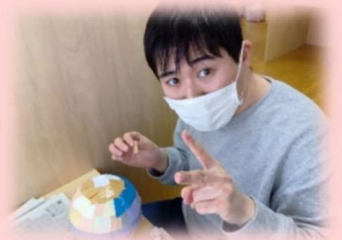
ホホエム サービス管理責任者(主任) 加賀谷 佳奈枝



日中活動では、1 つの活動に 1 人の職員を担当にすることで内容の立案や作品の完成等、一貫性をもって進めていきます。完成した作品は商品化し、れざみや地域のお祭り・バザーでの販売を行います。コースターや毛糸のモップの等のレギュラー商品に加えて、レジンのキーホルダーやペットボトルキャップを利用した新たな商品も開発中です。

創作活動では、ホホエムのエントランスやれざみに掲示する作品を日々の活動の中で作成しています。アーティスティックな色遣いやパワフルな作品を、ぜひご覧ください。

野外活動の一環として「えぽスポプロジェクト」と銘打ち、毎月第 3・5 金曜日に体育館を利用した運動活動を始めます。ハニカム、地域支援センターと協力し、ボッチャや玉入れなどゲーム性を取り入れ楽しく運動不足解消、体力作りを行っていきます。体育館の活動以外にも、ホホエム敷地内の畑で作物の栽培、近隣の公園までの散歩など、野外での活動を充実できるように計画し取り組んで行きたいと考えています。



喫茶れざみでは、季節に合った装飾で空間作りを行っています。法人の SNS を活用し、店内の様子や週替わりメニュー等の情報発信を行いゆっくり食事が楽しめる、地域の憩いの場となるようなお店作りを行います！

喫茶れざみ 営業時間

11:00~15:00 L.O.14:30(土日祝休)



地域生活支援センター（ともっと・てとる・あざれあ）

北広島市と恵庭市のグループホームでの住まいの支援（ともっと）、外出・通院時の支援（てとる）、特定相談支援・障害児相談支援（あざれあ）を実施しています。また、法人内の福祉サービス利用相談窓口も併設しており、障がいのある方やそのご家族のサポートを行っています。

今年度は、①障がい状況に応じた意思決定支援の推進、②虐待防止、身体拘束に関する取り組み、③非常災害に関する取り組み、④地域連携推進会議の運営、⑤成年後見制度の利用促進といった、5つの重点目標を立て、利用者様の生活をより良いものにできるよう取り組んで参ります。

地域生活支援センター センター長 黒川 浩太

ポイント

意思決定支援とは？

「障がいのある方の日常生活や社会生活に関して、自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援すること」です。ともっとでは特に力を入れて取り組んでおり、日常生活の様々な場面やホームの行事を通して、利用者様の選択を色々な支援方法でお手伝いしています。「こんなこともできるんだ！」という体験を通し、「こんなことがしたい！」というご希望に繋げられるような活動を継続してきました。特に利用者様個々のライフスタイルに着目し、よりご本人の意思が反映された、充実した生活を送る事ができるよう力を入れて参ります。



スポーツ大会に参加したい！



選挙の投票と一緒に
行って欲しい！

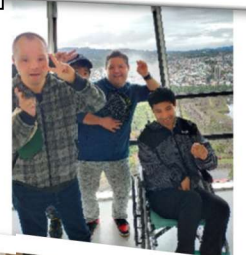


みんなで旅行に
行きたい！



「はたちのつどい」に
参加したい♪

ともっとは皆様の
「こんな生活がしたい！」を
応援します！！



外食も楽しみたい♪



ホームの食事も、好きな物を選ばたい！

ハニカム・あっと



ハニカムでは「えぽスポプロジェクト」を立ち上げ、「意思決定支援を尊重したスポーツ活動」を軸に捉え、利用者様一人ひとりが主体的に関わり、選択できる場づくりに取り組んでまいります。

障がいのある方にとって、自らの意思で活動内容を選ぶことは、生活の質の向上につながる大切な要素でもあり、喜びでもあると考えます。虐待防止、身体拘束の取り組みとして、支援中の不適切ケアについて、職員間で確認し、研修を通し振り返りを行い防止に努めたいと考えております。また利用者様の安心・安全を基本にさらに環境整備を行い、快適に過ごせる空間づくりにも力を入れております。

ハニカム 管理者 加藤 真姫

【日中活動】

- ◇牛乳パック再利用：紙すき体験
使い終わった牛乳パックをリサイクルし、手すきの紙を作っています。環境にも優しく、創作の楽しさを感じられる人気の活動です。
- ◇貼り絵制作
色とりどりの紙を使って、季節感あふれる作品を作っています。一人ひとりの個性が光る、温かみのある作品が出来上がります。
- ◇水苔作業
近隣の花農家さんの依頼を受け、7月～8月の期間限定で水苔作業を行っています。一定の重さになるように水苔を量り袋に詰める作業です。皆様集中して取り組まれています。
- ◇町内散歩
天気の良い日は、ごみ拾いをしながら近隣をゆったりと散歩。季節の移ろいや自然にふれながら、気分転換と運動を兼ねた時間を過ごしています。
- ◇ダンス
日中活動の中で、毎日動画に合わせて職員と一緒にダンスを踊っています。ストレッチなども組み込まれ終わるころには汗が流れ良い運動になっています。



「共同生活援助あっと」では、利用者様個々のニーズに対応し、日常的なケアを行っています。

休日にはレストランで美味しい物を食べたり、買い物や好きなレジャーに出掛けたりと「その人らしく暮らせる」支援を心がけております。

ハ丁平共生型センターはっち

はっちは室蘭市にあり、生活介護を提供している「ろぐらん」と、ご自宅に訪問してケアを行う居宅介護「らんらん」があります。

ろぐらんでは、利用者の皆さん一人ひとりが自分らしく過ごせるように支援しています。利用者の皆さんの意思決定を大切にするのはもちろん、安心して過ごすための安全面などの環境づくりと季節に合わせたさまざまな日中活動を計画します。日中活動をより充実させるために、活動内容の月間スケジュールを作成していきます。

また、看護師を2名配置し医療的ケアの必要な利用者様の受け入れも積極的に行っています。医療的ケアに向けた研修やシミュレーション試験・実地試験などを積極的に受講し、医療的ケアに対応した職員を増やしていき、利用者様のニーズにこたえた支援を行っていきたいと考えています。

らんらんでは、地域で暮らす皆さんに常に目を向け、皆さんの生活をより豊かにできるよう細かな支援も欠かさず提供していきます。

ハ丁平共生型センターはっち 管理者 吉崎 理映

ドライブや散歩



アイロンビーズ

ハロウィーン



クリスマスの飾りつけ



経管栄養



食事風景



相談室ますとびいー

相談室ますとびいーは、札幌市から委託を受けて、札幌市障がい者相談支援事業として障がいのある方やご家族、地域の方たちの様々な困りごとをお聞きし、解決方法を一緒に探す支援を行っています。相談は札幌市厚別区にお住まいの方を中心に行っており、現在、520 名の方が登録され、ご利用いただいています。ご相談については、まずはお電話で相談の概要をお聞きし、その後担当相談員が決まります。ますとびいーの基本姿勢としては、出向く相談を心がけており、直接ご自宅に訪問してご相談をお受けすることが多く、訪問件数が他の委託相談室の中で最も多い相談室となっています。相談内容としては、福祉サービスの利用について、日常生活全般のことなど、様々なご相談をお受けしています。



4 月からは、新しい相談員が 1 名入り、現在、社会福祉士などの資格を持った 10 名の相談員が働いています。

ますとびいーでは、内部の研修会を定期的を実施し、職員のスキルアップに努めています。

昨年度は、防災に関する研修を 2 回実施し、大きな地震が起きた想定で、机上訓練を初めて実施しました。訓練をしたことで、プランの見直しや職員の防災意識を高める効果があったと思います。併せて、感染症対策として、ノロウイルスの処置の仕方について

動画を見ながら研修を行っています。今後も様々な災害を想定した研修を重ね、非常時の対応を身に付けていきたいと思っています。

また、同法人のぽるとと連携し、フードドライブ事業にも力を入れています。実際に店舗へのフードの集荷や集荷したものを配布する先を開拓するため、厚別区内の子ども食堂などへご連絡し、定期的な配荷を行っています。法人内の様々な事業とも連携を図りながら、地域の状況を知るなど相談業務にも生かしながら、日々活動をしています。

今後も相談室ますとびいーでは、相談者の方が安心して相談できる厚別区の相談窓口として、相談員のレベルアップを図りながら活動していきたいと思っています。

相談室ますとびいー 管理者 松島 綾子

札幌市厚別区上野幌 3 条 4 丁目 1 番 12 号

TEL 011-299-3856 FAX 011-894-3899

✉mastbee@epoch.or.jp 9:00~17:30(土日祝休)

相談室ぽぷら

相談室ぽぷらは令和6年8月1日より、札幌市北区にて札幌市より委託を受け事業を開始しました。札幌市北区は人口およそ28万人で、札幌市の行政区の中で最も多く、面積は3番目ですが、そのほとんどが住宅地等で広がっているのが特徴です。

北区では、札幌市の委託相談を実施している事業所がぽぷらの他に2事業所あり令和7年度から地区割を開始することになりました。ぽぷらは北区の北部（あいの里・拓北・篠路・茨戸・屯田・太平・百合が原）を担当していく事となり、今年度はより一層の地域責任制を果たしていく事が必要です。

また、札幌市としても障がい者相談支援事業の地区割については初の試みであり、北区が先駆けとして施行となります。



相談員の活動においては、厚別区で実施している相談室ますとびいー同様、事業所で相談者を「待つ」のではなく、積極的に相談者のご自宅に訪問するという事を意識しています。ご相談いただいた内容をお聞きするという事だけではなく、実際に暮らしている様子を拝見することで、相談者の困り感を耳からの情報だけではなく目からも感じることで、より相談者に寄り添うという事ができると思っています。

令和7年度からは5名の相談員体制で、地域の町内会や民生委員の方々などと連携を密に取りながら、相談員それぞれの強みを生かしながら活動していきたいと思います。

また、北区でもフードドライブ事業を令和6年10月からスーパーアークスのノース店様にご協力いただき行っています。

ぽぷらの樹木のようにしっかりと地域に根を張り、さまざまな思いに耳をかたむけながら活動をしてきたいと思っています。

札幌市北区太平5条9丁目2番4号

TEL 011-717-5520 FAX 011-717-5521

✉popura@epoch.or.jp 9:00～17:30(土日祝休)

相談室ぽぷら 管理者 濱守 雅弘

きたひろしま暮らしサポートセンター ぽると

生活困窮者自立支援法に基づき、
北広島市から委託を受け開設しています。
北広島市民への自立相談支援を行う事業所で、
社会福祉等の資格を持った相談員が対応しています。



居住支援業務事業所えぽっく

フードバンクぽすこ

生活困窮者自立相談支援事業の相談の中で、食費を切り詰めて生活費を捻出している方々が非常に多い現状であることがわかりました。そこで、生活困窮からの早期脱却のサポート、孤独・孤立を抱えている方への見守りを目的とし、2021年にフードバンクぽすこをスタート。昨年度は北広島市役所と篠路のスーパーアークスノースにも支援品の回収拠点としてご協力いただくことになりました。あわせて現在9か所に回収BOXを設置。ご支援いただいた食料は、随時、必要とされている方々の他、子ども食堂を運営されている団体などへお届けしております。また、本年度より法人本部とぽるとで隔月開催していたフードドライブを毎月開催することとなりました。引き続き、あたたかいご支援のほど、よろしくお願いいたします。



フードドライブ 上半期開催予定

2025/5/3(土)	えぽっく 法人本部
5/17(土)	ぽると
6/7(土)	えぽっく 法人本部
6/21(土)	ぽると
7/5(土)	えぽっく 法人本部
7/19(土)	ぽると
8/2(土)	えぽっく 法人本部
8/16(土)	ぽると

学習支援事業

北広島市学習支援事業りらぼ

りらぼは、北広島市内にお住まいの中学生を対象とし、学習のサポートを希望される方に、学習の機会の提供と居場所の提供を行っています。また、保護者の方からの進路相談や生活相談を行っています。



毎週火曜日 17:00~19:00、ぽるとが入っているビルの会議室にて数学と英語を中心にサポートしています。支援員はボランティアの大学生の他、教員免許を持ったコーディネーターがいます。また長期休暇期間は、毎週火曜の定期開催とあわせ、自習室として20日間ほど開催し、学習以外にもイベントを開催しています。



夏休み期間
アート教室

夏休み期間
食事会

就労準備支援事業

ほっぷ！ すてっぷ！ じゃんぷ！

就労に blanks があったり、働いた経験がなく何から始めたら良いか不安をお持ちの方、家族以外と接する機会が欲しい方などを対象に就労に向けた支援を行っています。

ほっぷ！（日常生活自立支援）では、ものづくりやレク活動を通して、生活のリズムを整えていけるよう支援しています。

すてっぷ！（社会生活自立支援）では、ボランティア活動などを通じて、意欲や自信を高めていけるよう支援しています。

じゃんぷ！（就労自立支援）では、履歴書や面接練習などを行い、就労に向けて具体的な支援をしています。



自立相談支援事業

ぽるとでは、食料支援、学習支援、就労準備の他にも、家計状況の見直しをサポートする家計改善支援や、住居確保給付金利用の窓口として、生活での様々なお悩みや困りごとをお伺いしています。相談者様と解決の糸口を一緒に考え、思いに寄り添いながら、それぞれの方に合わせたお手伝いをさせていただきます。

北広島市栄町1丁目5番地2

エルフィンビル2階

TEL 011-887-6480

FAX 011-373-6680

✉ kurashi-poruto@epoch.or.jp